

## 第2章 保健医療の現状

### 1 人口等の状況

#### (1) 人口

- 本県の人口は、平成17年国勢調査によると1,467,815人(平成18年総務省統計局推計人口は1,460,000人)となっています。
- 過去の国勢調査からみると、昭和60年以降人口は減少を続け、平成17年までの間に4.1%の減少となっています。
- 圏域別に増減率をみると松山圏域は増加していますが、その他の圏域は減少しており、宇和島圏域の減少率が最も大きくなっています。
- 平成17年の人口を3区分の年齢構造で見ると、0～14歳の年少人口200,270人、15～64歳の生産年齢人口914,747人、65歳以上の老年人口351,990人となっています。
- 県人口に占める割合は、年少人口13.6%(全国13.7%)、生産年齢人口62.3%(65.8%)、高齢者人口24.0%(20.1%)で、全国の状況と比べると、高齢者人口の割合は全国を上回り、年少人口と生産年齢人口の割合は全国を下回っています。
- 圏域別に高齢化率をみると、八幡浜・大洲圏域が31.3%と最も高く、次いで宇和島圏域の29.6%で、南予地域が高くなっています。

市町村合併により、平成17年1月1日付けで旧小田町は松山圏域から八幡浜・大洲圏域に変更されました。

### 年齢3区分別人口の推移

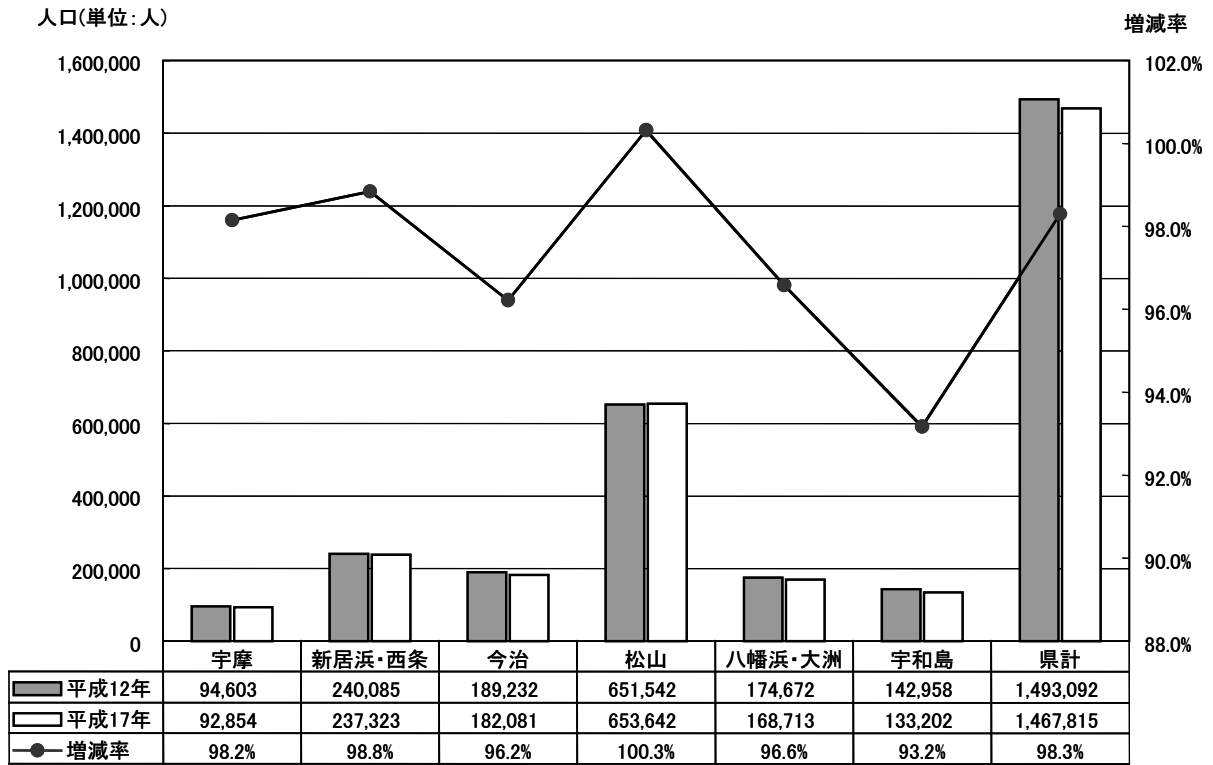
単位：人（％）

区 分		昭和60年	平成 2 年	平成 7 年	平成12年	平成17年
総人口	全 国	121,048,923 (100.0)	123,611,167 (100.0)	125,570,246 (100.0)	126,925,843 (100.0)	127,767,994 (100.0)
	愛媛県	1,529,983 (100.0)	1,515,025 (100.0)	1,506,700 (100.0)	1,493,092 (100.0)	1,467,815 (100.0)
0～14歳 (年少人口)	全 国	26,033,218 (21.5)	22,486,239 (18.2)	20,013,730 (15.9)	18,472,499 (14.6)	17,521,234 (13.7)
	愛媛県	325,958 (21.3)	280,919 (18.5)	245,563 (16.3)	219,340 (14.7)	200,270 (13.6)
15～64歳 (生産年齢人口)	全 国	82,506,016 (68.2)	85,903,976 (69.5)	87,164,721 (69.4)	86,219,631 (67.9)	84,092,414 (65.8)
	愛媛県	1,005,968 (65.8)	1,000,404 (66.0)	982,400 (65.2)	953,189 (63.8)	914,747 (62.3)
65歳以上 (高齢者人口)	全 国	12,468,343 (10.3)	14,894,595 (12.0)	18,260,822 (14.5)	22,005,152 (17.3)	25,672,005 (20.1)
	愛媛県	198,044 (12.9)	232,726 (15.4)	278,691 (18.5)	320,078 (21.4)	351,990 (24.0)

		愛媛県	宇摩 圏域	新居浜 ・西条 圏域	今治 圏域	松山 圏域	八幡浜 ・大洲 圏域	宇和島 圏域
高齢者人口 割合(%)	平成17年	24.0	23.6	24.7	25.9	20.2	31.3	29.6
	平成12年	21.4	21.3	22.3	23.0	17.9	27.9	26.1
	平成 7 年	18.5	18.2	19.2	20.0	15.4	24.0	22.2
年少人口 割合(%)	平成17年	13.6	14.1	14.0	13.0	14.0	12.9	12.9
	平成12年	14.7	15.5	14.8	13.7	15.0	14.3	14.2
	平成 7 年	16.3	17.2	16.1	15.4	16.6	16.3	16.1

(国勢調査)

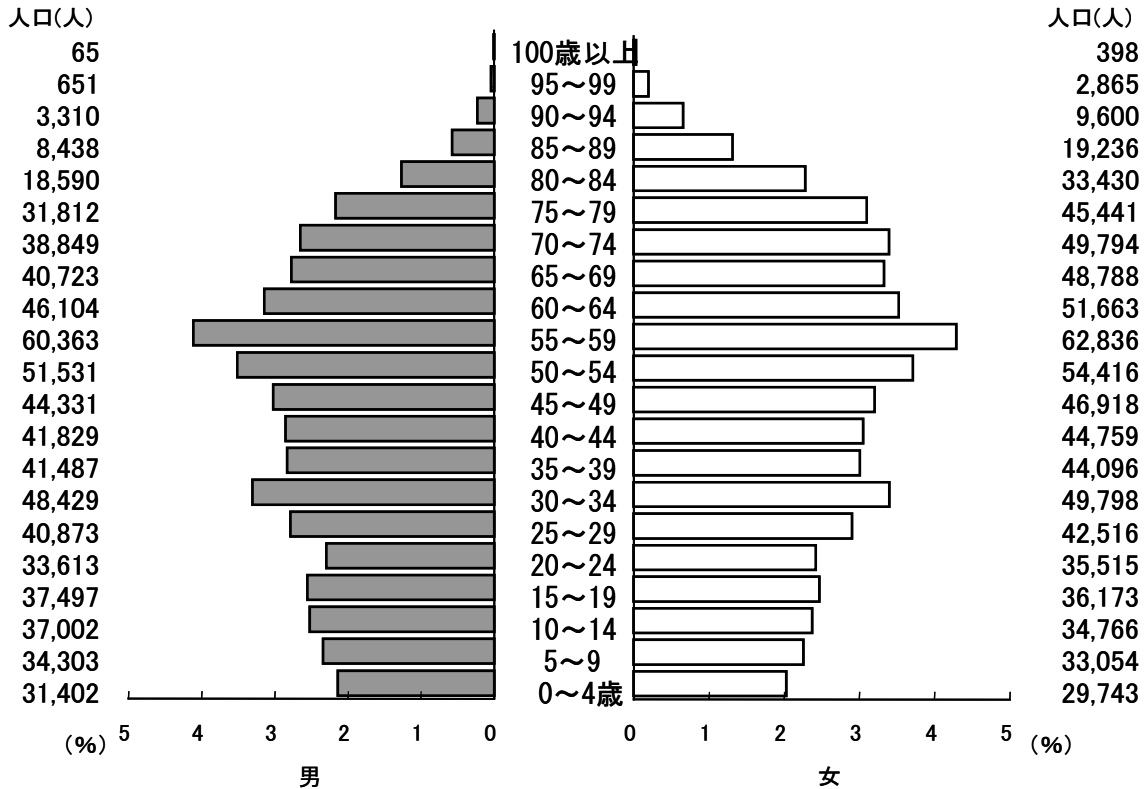
### 国勢調査年人口と増減率 - 二次医療圏別



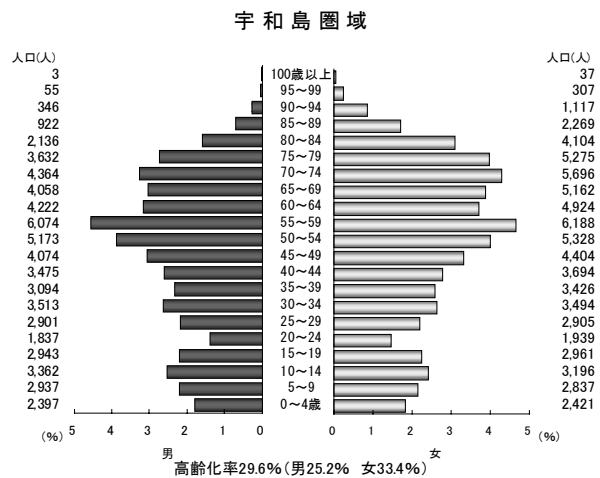
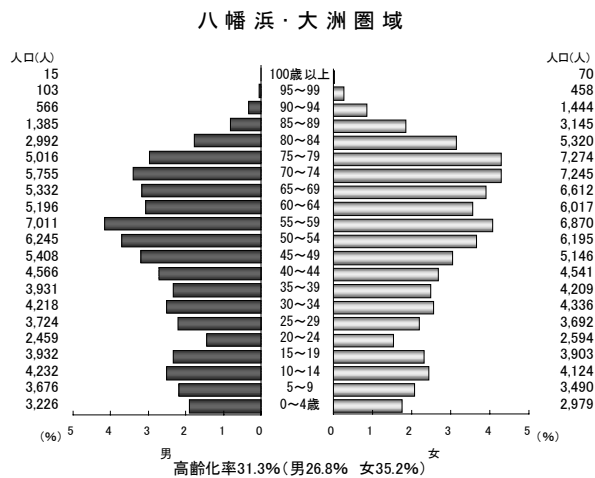
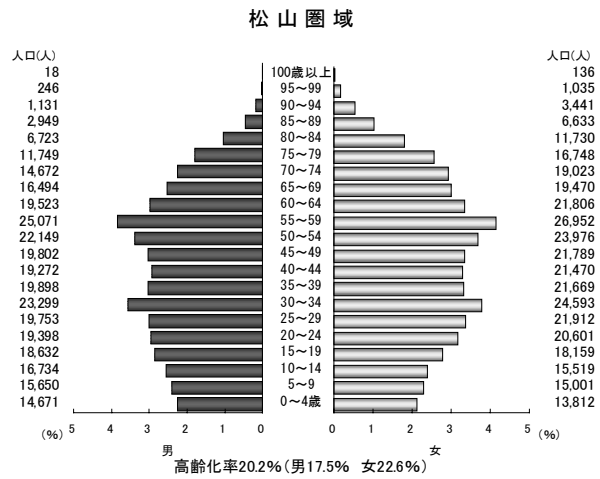
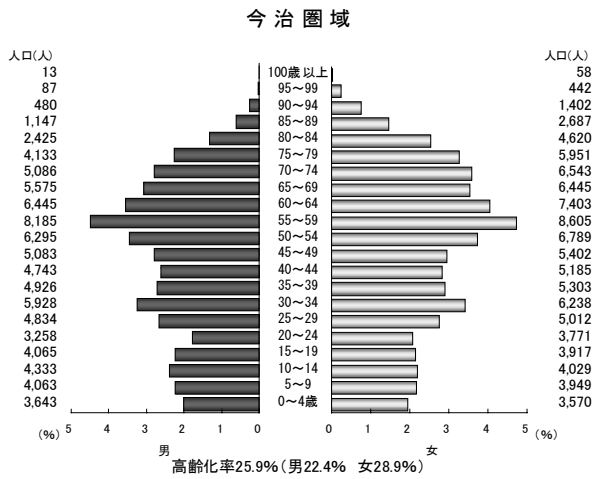
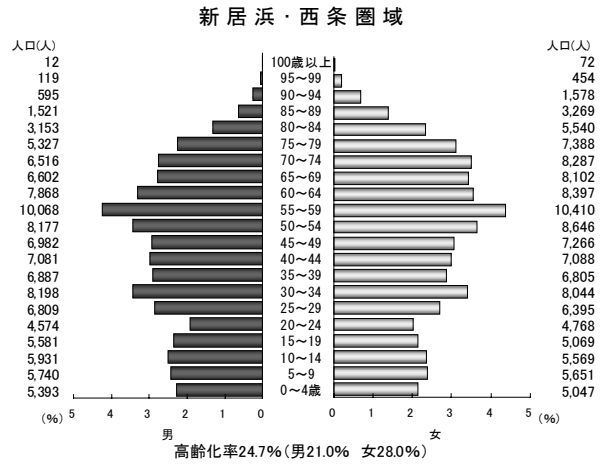
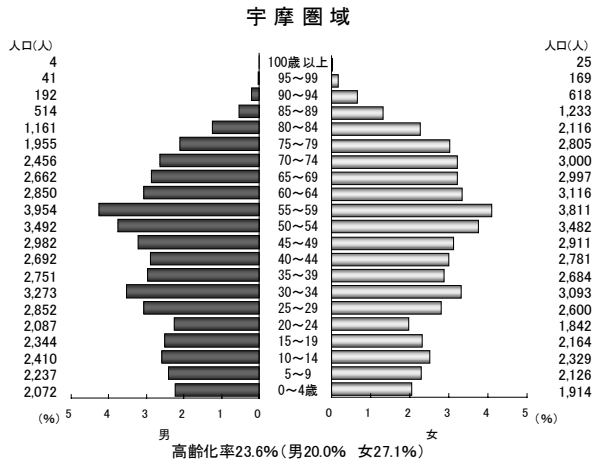
### 5歳階級別人口構成(愛媛県)

高齢化率24.0%(男20.6% 女27.0%)

(平成17年)



# 圏域別人口ピラミッド



## (2) 出生

○出生数は、平成15年及び平成18年のように対前年比で増加している年はあるものの、減少傾向にあります。

○出生率（人口千対）も減少傾向にあり、平成18年は8.1で、全国の8.7を下回っています。

○平成13年から18年にかけて減少率が大きいのは、宇和島圏域で1.3、八幡浜・大洲圏域及び新居浜・西条圏域で1.2の減少となっています。

○平成18年の合計特殊出生率は1.37で、全国の1.32を上回っています。

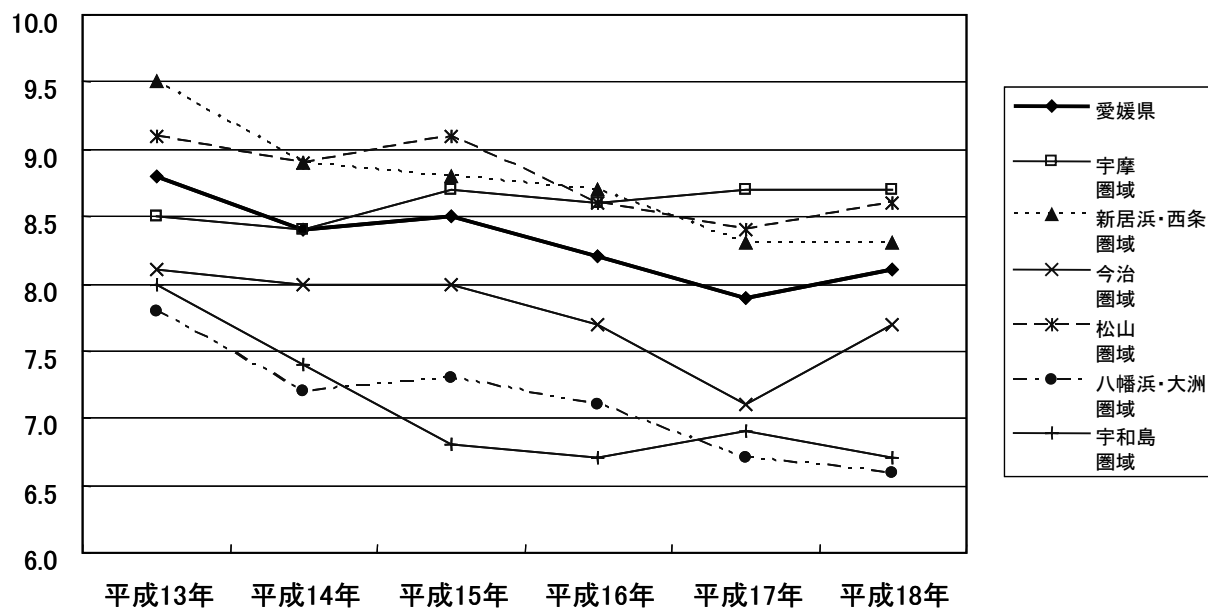
### 出生の年次推移

	13年	14年	15年	16年	17年	18年
出生数（愛媛県）	13,006	12,488	12,534	12,057	11,528	11,752
出生率（愛媛県）	8.8	8.4	8.5	8.2	7.9	8.1
〃（全国）	9.3	9.2	8.9	8.8	8.4	8.7
合計特殊出生率（愛媛県）	1.40	1.35	1.36	1.33	1.35	1.37
〃（全国）	1.33	1.32	1.29	1.29	1.26	1.32

出生率は人口千対  
（人口動態調査）

合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する

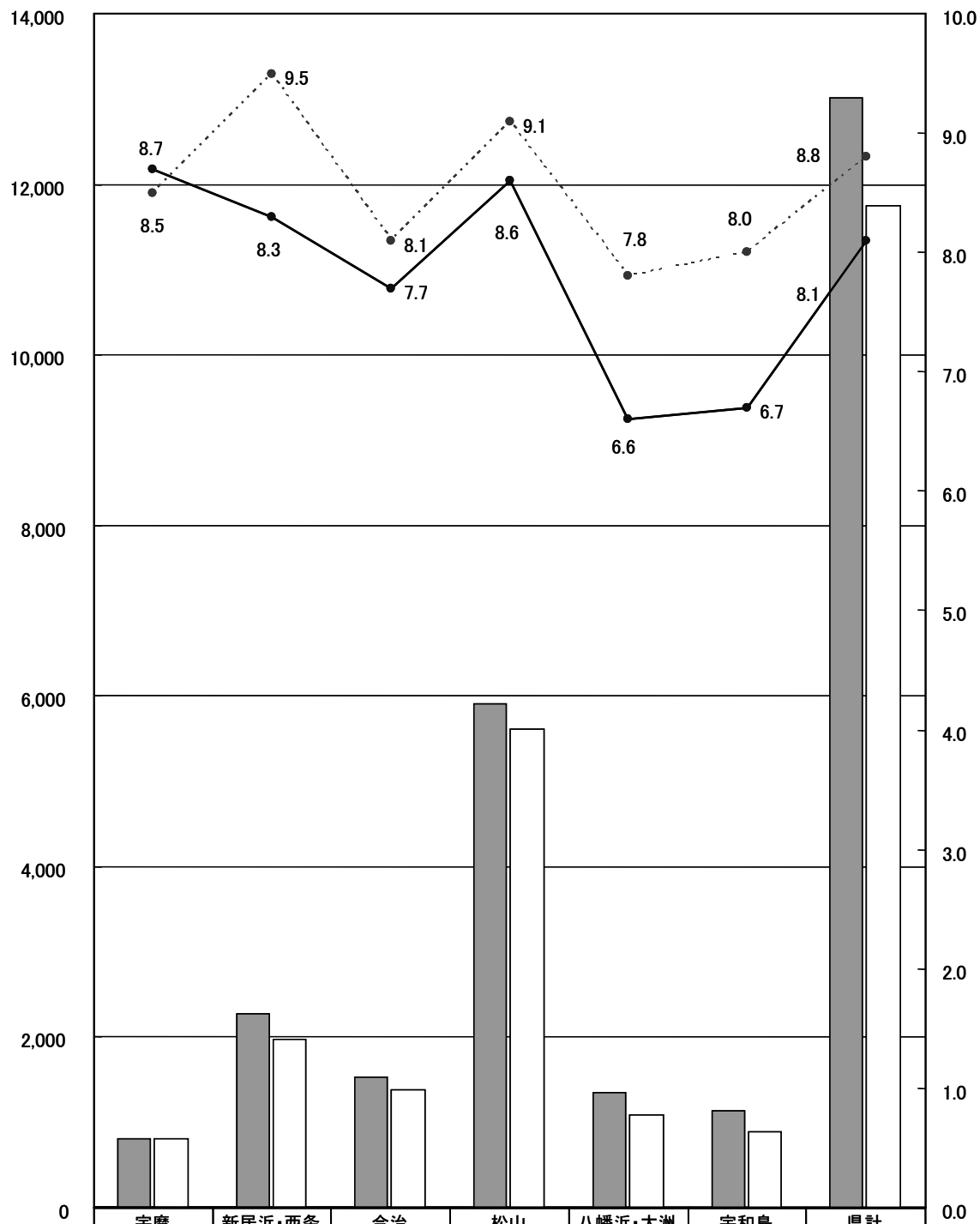
### 圏域別出生率（人口千対）



### 出生数と出生率 - 圏域別

**出生数**  
人口(単位:人)

**出生率**  
(人口千対)



■ 平成13年	804	2,275	1,526	5,909	1,357	1,135	13,006
□ 平成18年	801	1,974	1,390	5,613	1,092	882	11,752
---●--- 平成13年	8.5	9.5	8.1	9.1	7.8	8.0	8.8
—●— 平成18年	8.7	8.3	7.7	8.6	6.6	6.7	8.1

### (3) 死亡

○平成18年の死亡数は15,335人で、平成13年に比べ1,350人増加しています。

○死亡率(人口千対)は10.6で、全国の8.6を上回っていますが、これは本県の年齢構成が全国より高齢化していることが影響しているものと考えられます。

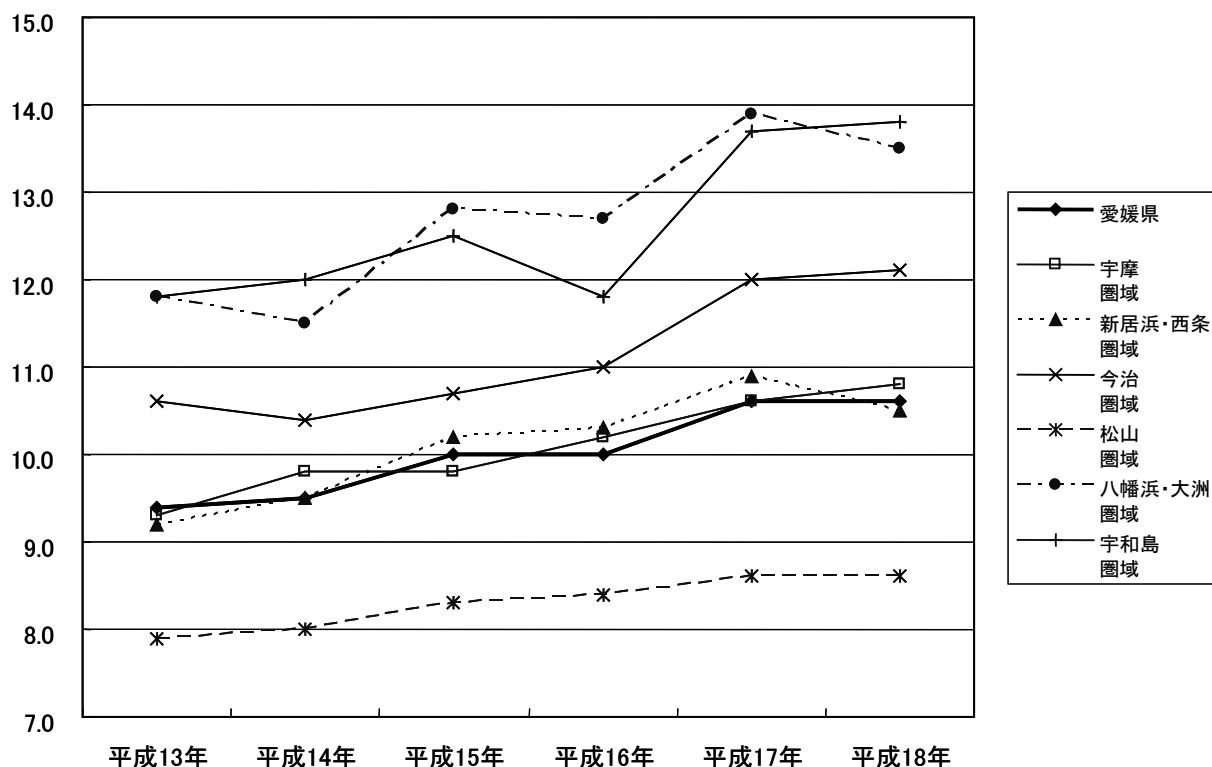
○圏域別にみると松山圏域が8.6で最も低く、宇和島圏域が13.8と最も高くなっています。

#### 死亡率の年次推移

	平成13年		平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年	
死亡数 (愛媛県)	総数 13,985		14,008		14,715		14,664		15,469		15,335	
	男 7,422	女 6,563	7,613	6,395	7,916	6,799	7,772	6,892	8,055	7,414	8,016	7,319
死亡率 (愛媛県)	9.4		9.5		10.0		10.0		10.6		10.6	
	10.6	8.4	10.9	8.2	11.4	8.7	11.2	8.9	11.7	9.6	11.7	9.5
死亡率 (全国)	7.7		7.8		8.0		8.2		8.6		8.6	
	8.6	6.9	8.7	6.9	9.0	7.2	9.0	7.3	9.5	7.7	9.4	7.8

死亡率は人口千対  
(人口動態調査)

#### 圏域別死亡率(人口千対)



○一定の年齢構成の基準人口に当てはめて調整した人口10万人当たりの死亡率（年齢調整死亡率）では、男女とも全国を上回っています。

○死因別の死亡数では、悪性新生物が4,172人で最も多く、心疾患2,905人、脳血管疾患1,727人の順となっており、これらの3大死因で総死亡の約6割を占めています。

○3大死因の死亡率（人口10万対）は悪性新生物287.1、心疾患199.9、脳血管疾患118.9で、いずれも全国を上回っていますが、年齢調整死亡率では、心疾患が男女ともに全国を上回っています。

## 死亡数及び死亡率

（平成18年）

順位	死因	実数（愛媛）		死亡率（愛媛）		死亡率（全国）	
1	悪性新生物	総数 4,172		287.1		261.0	
		男 2,506	女 1,666	365.8	216.9	321.7	203.2
2	心疾患	2,905		199.9		137.2	
		1,391	1,514	203.1	197.1	134.5	139.7
3	脳血管疾患	1,727		118.9		101.7	
		808	919	118.0	119.7	99.6	103.6
4	肺炎	1,584		109.0		85.0	
		763	821	111.4	106.9	91.9	78.5
5	不慮の事故	593		40.8		30.3	
		356	237	52.0	30.9	37.9	23.1

実数……人、死亡率……人口10万対

（人口動態調査）

## 年齢調整死亡率（人口10万対）

（平成17年）

死因	年齢調整死亡率（ ）は全国			
悪性新生物	男	190.2 ( 197.7 )	女	95.1 ( 97.3 )
心疾患		100.0 ( 83.7 )		55.5 ( 45.3 )
脳血管疾患		61.3 ( 61.9 )		32.4 ( 36.1 )
肺炎		53.0 ( 51.8 )		21.6 ( 21.6 )
不慮の事故		37.7 ( 28.9 )		13.1 ( 11.3 )
全死因		615.1 ( 593.2 )		305.6 ( 298.6 )

（都道府県別年齢調整死亡率）

## 標準化死亡比

(平成10～14年)

圏 域	全死因		心疾患				脳血管疾患	
	男	女	男	女	急性心筋梗塞		男	女
					男	女		
宇摩	102.9	95.6	113.9	103.8	87.0	84.8	80.7	74.4
新居浜・西条	100.0	94.6	99.4	99.3	107.5	98.3	91.1	91.9
今治	103.6	100.9	126.3	119.0	100.9	93.3	105.4	103.7
松山	100.8	100.7	114.8	112.1	112.4	104.8	94.6	94.0
八幡浜・大洲	98.9	99.2	105.2	107.7	105.5	90.3	104.5	104.9
宇和島	109.0	102.3	128.2	109.9	109.8	93.0	113.2	106.5
愛媛県	101.8	99.4	113.7	109.5	107.0	97.2	98.2	96.9

圏 域	悪性新生物									
	悪性新生物計		胃		大腸		肝及び肝内胆管		気管、気管支及び肺	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
宇摩	99.1	90.6	115.5	99.7	81.3	75.2	103.0	81.6	108.8	95.0
新居浜・西条	102.0	91.1	102.0	103.3	89.6	82.1	134.7	88.5	109.6	99.0
今治	99.6	92.2	97.3	90.0	77.7	95.1	143.9	112.5	109.4	97.6
松山	100.0	97.6	96.8	94.8	79.6	76.3	159.1	133.3	92.6	105.5
八幡浜・大洲	88.7	87.2	95.2	97.6	85.1	88.7	78.2	76.2	97.4	81.9
宇和島	90.2	85.9	103.0	103.5	80.0	65.4	91.7	75.2	90.2	88.6
愛媛県	97.5	92.5	99.4	97.3	82.0	80.4	130.4	104.5	99.2	97.2

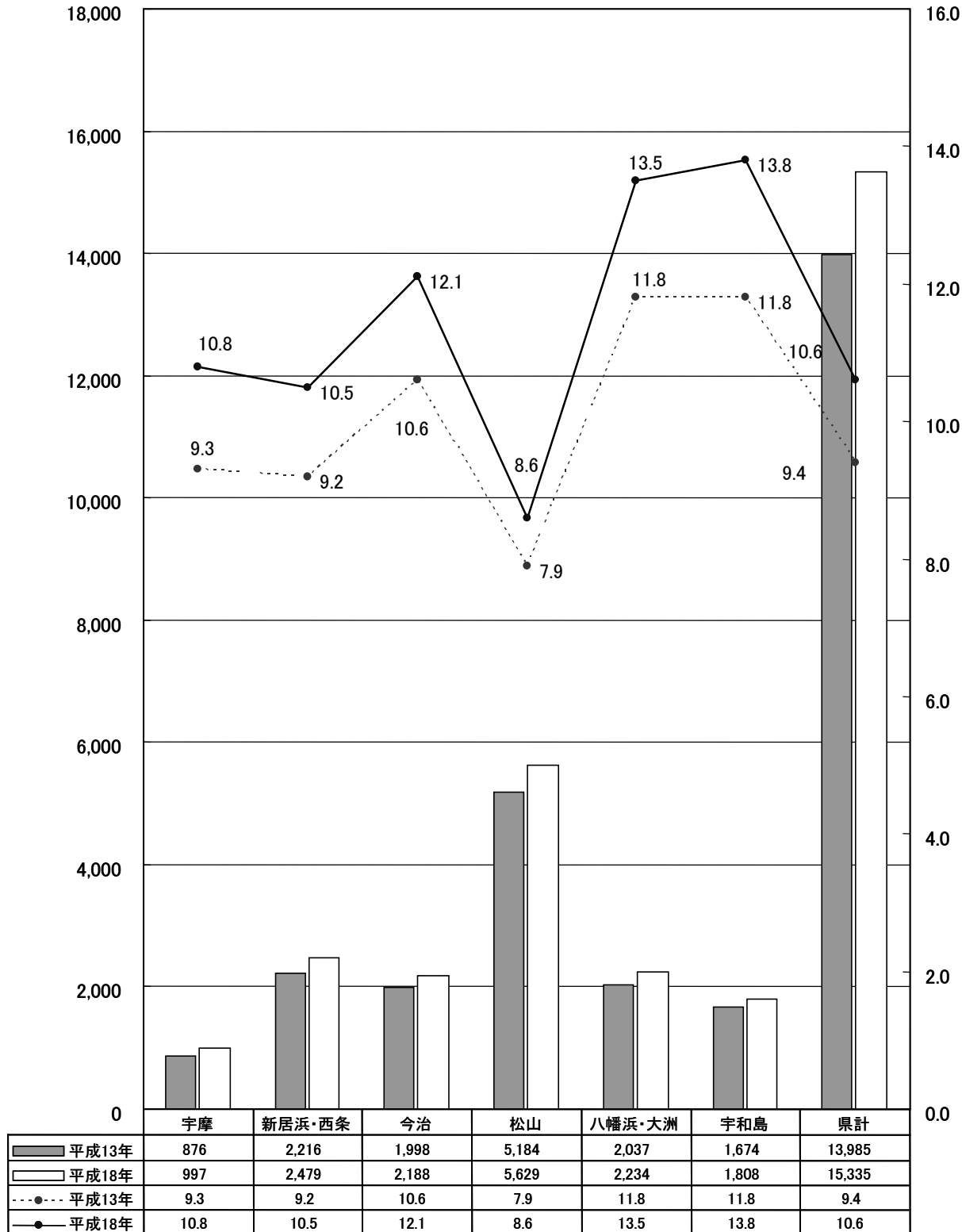
(人口動態保健所・市町村別統計)

標準化死亡比：基準死亡比を対象地域に当てはめて算出される期待死亡数と、実際の死亡数との比。  
全国の平均を100とする

### 死亡数と死亡率 - 圏域別

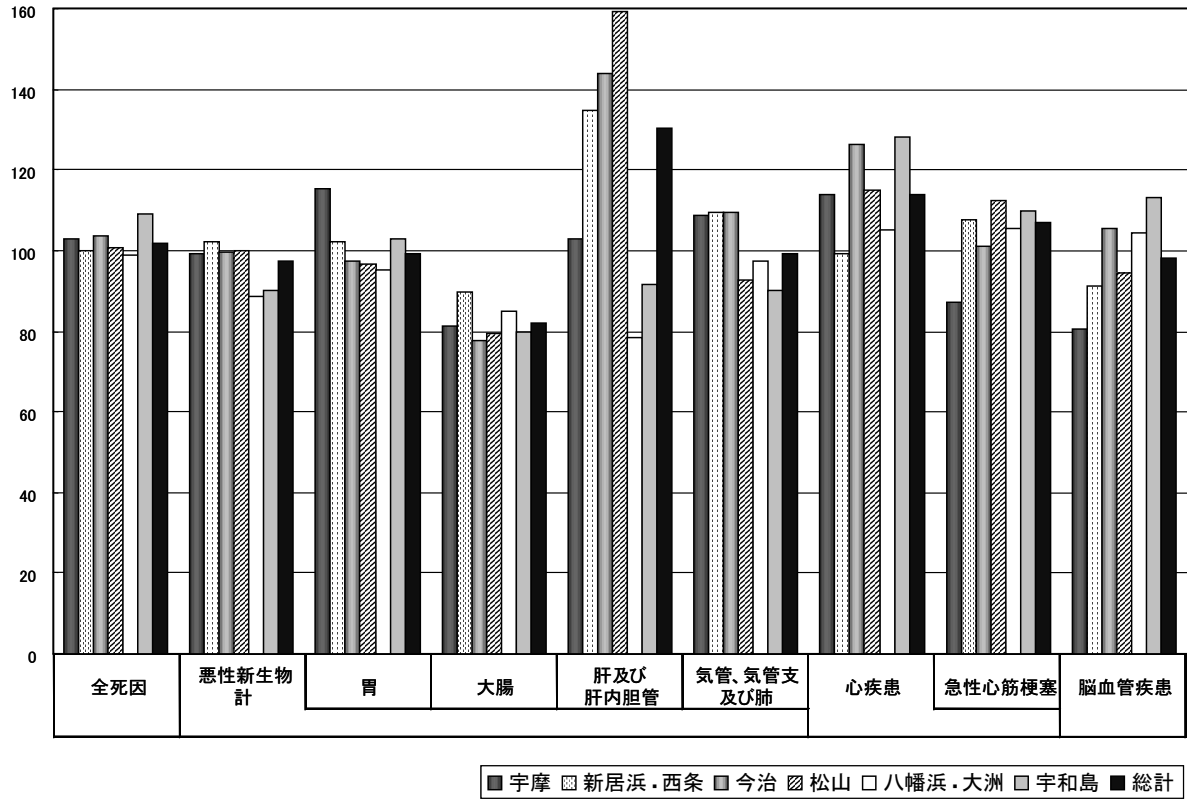
死亡数  
人口(単位:人)

死亡率  
(人口千対)



### 標準化死亡率（男）

(平成10~14年)



### 標準化死亡率（女）

(平成10~14年)

